## 「離散数学・オートマトン」演習問題 10 (解答例)

2023/12/11

## 1 決定性有限オートマトン

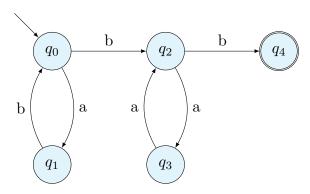
課題 1 決定性有限オートマトン  $M = \langle Q, \Sigma, \delta, q_0, F \rangle$  を考える。ここで

$$Q = \{q_0, q_1, q_2, q_3, q_4\}$$
  

$$\Sigma = \{a, b\}$$
  

$$F = \{q_4\}$$

である。遷移関数は図に示す。このとき、受理される文字列のうち、長さが5以上のものを3つ示しなさい。また、そのうちの二つについて、 $(q,a) \vdash_M (q,w)$ の形式で、状態遷移を示しなさい。



**解答例** 以下に例示する。0 個以上の ab の後に b が続き、0 個以上の aa の後に b が一つ 続く文字列を受理する。

baaaab, abbaab, ababbb

以下に状態遷移を示す。

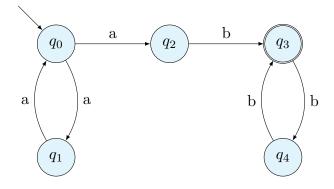
$$(q_0, baaaab) \vdash (q_2, aaaab)$$
 $\vdash (q_3, aaab)$ 
 $\vdash (q_2, aab)$ 
 $\vdash (q_3, ab)$ 
 $\vdash (q_2, b)$ 
 $\vdash (q_4, \epsilon)$ 
 $(q_0, abbaab) \vdash (q_1, bbaab)$ 
 $\vdash (q_2, aab)$ 
 $\vdash (q_2, aab)$ 
 $\vdash (q_2, b)$ 
 $\vdash (q_4, \epsilon)$ 
 $(q_0, ababbb) \vdash (q_1, babbb)$ 
 $\vdash (q_0, abbb)$ 
 $\vdash (q_0, abbb)$ 
 $\vdash (q_0, bb)$ 
 $\vdash (q_2, b)$ 
 $\vdash (q_2, b)$ 
 $\vdash (q_3, ab)$ 

## 2 非決定性有限オートマトン

**課題 2** 非決定性有限オートマトン  $M = \langle Q, \Sigma, \delta, q_0, F \rangle$  を考える。ここで

$$Q = \{q_0, q_1, q_2, q_3, q_4\}$$
  
 $\Sigma = \{a, b\}$   
 $F = \{q_3\}$ 

である。遷移関数は図に示す。このとき、受理される文字列のうち、長さが5以上のものを4つ示せ。また、そのうちの二つについて、 $(q,\mathbf{a})\vdash_M (q,w)$ の形式で、状態遷移を示しなさい。



解答例 以下に例示する。奇数個のaの後、奇数個のbが続く文字列を受理する。

aaabbb, abbbbb, aaaaab

以下に状態遷移を示す。

$$(q_0, aaabbb) \vdash_M (q_1, aabbb)$$

$$\vdash_M (q_0, abbb)$$

$$\vdash_M (q_2, bbb)$$

$$\vdash_M (q_3, bb)$$

$$\vdash_M (q_4, b)$$

$$\vdash_M (q_4, b)$$

$$\vdash_M (q_3, bbbb)$$

$$\vdash_M (q_4, bbb)$$

$$\vdash_M (q_4, bbb)$$

$$\vdash_M (q_4, bb)$$

$$\vdash_M (q_4, b)$$

$$\vdash_M (q_4, b)$$

$$\vdash_M (q_4, b)$$

$$\vdash_M (q_4, aaab)$$

$$\vdash_M (q_0, aaab)$$

$$\vdash_M (q_0, ab)$$

$$\vdash_M (q_2, b)$$

$$\vdash_M (q_3, \epsilon)$$